

大島商船110周年



大島商船高等専門学校が今年創立110年を迎え、10月6日に記念式典が行われました。大島商船は明治30年に大島郡立海員学校として創設され、昭和42年に商船高専が設置されました。式典には、学校ゆかりの方々や生徒が出席し、伝統ある学校の創立110周年を祝いました。



10月13日、OPデイニングと呼ばれる小型ヨットの体験講習があり、小学生14人がセイリングに挑戦しました。まず、帆を取り付ける前のヨットに乗り、バランスを感じたりこぎ方や舵の取り方を練習したりしました。大型の扇風機で起こした風を帆に受けてゆっくり進むヨットで、子ども達は気持ちよさそうにセイリングを楽しんでいました。



子どもや教師、保護者に「いのち」の大切さや生きることのすばらしさを知ってほしいと、NPO法人SIDS家族の会あいちが、NPO法人ふるさと里山救援隊とともに10月10日、町内の保育所と小学校に絵本を寄贈しました。絵本の作者は高橋妙子さんで、会のスタッフがSIDS（乳幼児突然死症候群）で子どもを亡くした経験をもとに出版したものです。高橋さんは一冊一冊に子ども達へのメッセージを手書きし、昔からの知り合いであるふるさと里山救援隊の代表田中照敏さんへ託しました。

周防大島をまるかじり

周防大島の特産品や郷土料理、観光スポットなどをまるごと楽しむイベント「第2回周防大島まるかじり」が、10月14日、道の駅サザンセントとうわ周辺で開催されました。テントには旬のみかんやサツマイモ、野菜が並び、ステージではカラオケ大会やフラダンスショーが祭りを盛り上げました。会場内のポイントを巡るスタンプリーやみかん鍋の振る舞いも大人気で、約7200人が周防大島をまるかじりました。



日ごろの思いを発表



10月9日、大島文化センターで第57回大島郡中学校生徒の主張発表大会が開催されました。社会を明るくする運動の一環として行われているもので、今年は18人の生徒が学校や家庭のことについて発表をしました。審査の結果、蒲野中学校2年の池永和さんが最優秀に選ばれました。

風を受けてセイリングを体験